

「石狩川開発建設部遊水地事業監理委員会」の設立について

1. 設立趣旨

千歳川遊水地群整備事業は、千歳川放水路計画に代わる新たな治水対策のひとつとして、平成17年4月に策定した「千歳川河川整備計画」に位置付けた事業である。

この計画で洪水を安全に流下させるため、石狩川の高い水位の影響を長時間受けることに対応した堤防の整備、河道の掘削とともに、洪水調節のために遊水地群を整備する。

千歳川遊水地群整備事業は、昭和56年8月上旬降雨により発生する洪水について、そのピーク水位を計画高水位以下となるよう、流域の4市2町の地先において、洪水調節容量が概ね5千万m³の遊水地群を千歳川本支川に分散して整備する。

本事業が、大規模かつ整備完了まで時間を要する事業であるが、長年にわたる議論の結果、千歳川の遅れている治水対策を、より効率的に推進する必要がある。

また、整備にあたっては、地域の土地利用計画等と調整を図り、内水被害の軽減に寄与するよう進めることから、周辺の地域づくりと深く関わりを持つ中で、効果的な事業の進め方を十分に検討する必要がある。

このため、石狩川開発建設部は、千歳川遊水地群整備事業における適切な事業執行の観点から、より一層充実した事業監理を進めていくことが重要であると考え、事業の進め方とコスト縮減方策等について、第三者からの客観的な意見、助言を求めることとした。

2. 対象事業：千歳川遊水地群整備事業

3. 委員の構成

(敬称略、五十音順)

名 前	所 属 等	専 門 分 野
内田 和男	北海道大学大学院 経済学研究科 教授	経済学
加賀屋誠一	北海道大学大学院 工学研究科 教授	交通工学、国土計画
黒木 幹男	北海道大学大学院 工学研究科 准教授	水工学、河川工学、土砂水理学
秀島 好昭	寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長	農業工学
吉井 厚志	寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ長	河川工学